

平成 26 年度  
(一社) 静岡県臨床衛生検査技師会  
第 1 回理事会

日時 平成 26 年 4 月 21 日(月)

午後 2 時 00 分～午後 5 時 20 分

場所 (一社) 静岡県臨床衛生検査技師会事務所

平成 26 年度（一社）静岡県臨床衛生検査技師会 第 1 回理事会

日 時 : 平成 26 年 4 月 21 日（月） 午後 2 時 00 分～午後 5 時 20 分

場 所 : （一社）静岡県臨床衛生検査技師会事務所

出席者 : 現在役員数 20 名（理事 18 名・監事 2 名）

横地常広 原田 勉 三宅和秀 松岡敏彦 菌田明広  
山口浩司 伊藤喜章 松川昭宏 豊田次郎 勝又俊郎  
鈴木雅人 加藤智行 高橋 篤 栗原五美 清水憲雄  
市川千津子 海野和浩（書記）  
榛葉智之（監事）

（名 18／全 20 名中 うち理事名 17／全 18 名中）

欠席者 : 高島吉則 渡辺時治（監事）

議長及び議事録記名人選出

議 長 横地常広  
議事録署名人 原田 勉 三宅和秀 松岡敏彦  
榛葉智之 渡辺時治（監事）

優先課題

- ・ 議案書案
- ・ 学会・総会運営

議題

1. 前回議事録確認
  2. 議事録報告（P1～）
  3. 依頼関係（P9～・P49）
  4. 届け出書類（P16）
  5. 部局報告・審議
- ・ 組織部（P17～）

- ・ 広報部 (P26～)
- ・ 学術部 (P28～)
- ・ 会計部 (P34～)
- ・ 事務局 (P40～)
- 6. 中部圏支部関連 (P45～)
- 7. 技師連盟関連 (P47～)
- 8. 東部支部会 (P48～)
- 9. 検体測定室におけるガイドライン (P50～)
- 10. 事務所関連 (P56～)
- 11. 後援依頼、結果報告、御礼 (P65～)
- 12. その他
  - ・ 公益信託、臨床検査医学研究振興基金 (P78)
  - ・ もくせい会館案内 (P80)
  - ・ 「検査説明・相談の出来る臨床検査技師育成講習会」実施要項 (別紙)
  - ・ 新入会承認・会員異動 (P84)
  - ・ 予定表 (P86)

・ 次回理事会 (平成 26.年 5 月 15 日：新旧理事による引き継ぎ) 書記：加藤

## 優先課題

### 1. 議案書案について(伊藤事務局長 別紙資料)

- ・今年度は役員改選のため、理事・役員候補者選考委員を信任する第4号・第5号議案がある。
- ・今回の総会議案書は集計がしやすいよう、試験的に出席予定者はうぐいす色、欠席予定者はピンク色にしてみることにした。  
当日欠席から出席になった場合は、検査学会受付時に申し出てもらい、委任状に数を修正する。  
(出席から欠席になった場合は5号議案のみ書面表決とする。)
- ・各部局計画案の文書、次期理事候補、役員選考委員の施設名称を修正した。

### 2. 学会・総会運営(藺田常務理事)

- ・学会の抄録印刷は発注済み。次回会報送付の際に、同封して会員に郵送する予定である。
- ・宮島会長の都合により、プログラム上の特別講演を最後に変更した。
- ・会員交流会名刺交換会の開始時間を1時間繰り上げて17:00~19:00とした。
- ・学会、総会における各理事の役割分担は次回の理事会までに提案する。
- ・総会のみ参加する会員からは参加費の徴収はしないが、参加登録は総会のみとする。(学会参加者は、学会・総会ともに参加登録をする。)
- ・今回の学会で2回目の発表をする会員がいるが、この会員については一度「わかふじ若富士奨励賞」を渡しているため、今回は対象から除外することで承認された。

## 議題

### 1. 前回議事録確認(伊藤事務局長)

- ・第8回理事会議事録について、本日全員の署名が入り完成し前年度の議事録は全て完成したと報告があった。

### 2. 議事録報告

#### ① 学術部門長会議(三宅副会長)

清水理事の作成した議事録を口頭で説明した。

会議で出され質問について、理事会にて統一見解を求めた。

- 1) 日臨技のシステムで会員の個人的情報が見えてしまうのが問題ではないか？との質問に対し会長より「中部圏支部規模で行う研修会の事前準備が大変で、実務委員のみで行うには負担が大きく、効率よく準備するために特定の会員に許可を与えて閲覧できるようにしている。質問者の意見は理解できるが現時点で問題事例が起こっていないので理解していただきたい」との発言があった。
  - 2) 実技講習会は他職種の参加を認めてもよいか？との質問に対し、会長より「技師会からの助成金は会員の会費で賄われているので、会員の参加を優先してもらいたい。もし欠員があり参加してもらう場合は、実費相当の徴収をお願いすべきだと思う。あるいは他職種との共催を提案したらどうか？」との発言があった。
  - 3) 研修会の共催の意味について、会長より「プロモーションコード上は1社との共催が可能のようだが、技師会としては多くの賛助会員に提案して数社との共催を前提としてもらうよう各部門長にお願いしたい」との発言があった。
  - 4) 会長より、「県医師会とコラボしている県病院協会へ理事を送りだせるよう次年度は是非検討してもらいたい。」と要望があった。
- ② 役員候補者選考委員会（伊藤事務局長）
- 次期理事候補者、次期役員候補者選考委員候補推薦者の報告があった。  
委員会を開催するにあたり次期理事候補者の三原利仁氏に選考委員を辞任してもらった。

### 3. 依頼関係（伊藤事務局長）

- ・福岡県に住む検査関連の大学生より静臨技の会員数を教えてもらいたいとの問い合わせがあったとの報告があり、理事会で教えることを承認した。
- ・静岡医療科学専門学校の臨床検査学科を開設するにあたり技師会への協力要請があったとの報告があり協議した結果、研修会・公益事業への参加を認めることを承認した。
- ・愛臨技より依頼された「愛知県臨床検査標準化ガイドラインに対するパブリックコメントについて」の文書をホームページに掲載することを承認した。

### 4. 届け出書類（伊藤事務局長）

- ・公益目的支出計画実施報告書の電子申請が可能になったと報告された。

## 5. 部局報告

### 1) 組織部（原田副会長）

- ・永年職務精励者表彰について  
年度期間の変更により、表彰規程による基準とのずれが生じる点、「継続会員として20年」の確認が出来ず定款に忠実ではない点があるので規程を修正したいとの提案があった。理事会では、「年度内は会計年度」「継続会員20年を削除する方向」とし、次回の理事会までに修正した規約を提案することになった。
- ・日臨技学術奨励賞に焼津市立総合病院の宮崎研一氏が選出された。
- ・小島三郎賞・福見秀雄賞・研究助成金贈呈者の報告があった。

### 2) 広報部（松岡副会長）

- ・会報4月号の発行、5月号の印刷を近日中に依頼するとの報告があった。

### 3) 学術部（三宅副会長）

- ・静岡県医師会精度管理役員推薦者について報告があった。この中に基準範囲部門に高島吉則氏が候補とされているが、高島氏の協力が得られないとデータ集計が望めない点、今後データ収集し続けても信頼性の高い基準範囲作りにつながる可能性があるか疑問であり、技師会としてメリットがあるとは考えにくい。また、ドック学会と健保組合が150万人のデータを基にした基準範囲を動脈硬化学会・高血圧学会の基準範囲を無視して動き始めているので基準範囲については現在までのデータを解析して終了とすることを参加理事全員一致で承認された。
- ・各部門推薦者のリストが提出され承認後に委嘱状を発行する予定だったが臨床生理部門、遺伝子部門、総合検査部門のリストが不足していたので、後日メールにて承認をもらうことになった。
- ・清水理事より、本年度の県医師会精度管理事業参加は110施設との報告があった。また、藺田常務理事より試料送付に使用する袋・ラベルを委託したいとの報告があり承認された。（約50000円）

### 4) 会計部（豊田会計部長）

- ・平成26年度予算書を作成、提示された。
- ・日臨技より平成26年度静臨技年会費が1412名分入金された。

#### 6. 中部圏支部関連（三宅副会長）

- ・支部学会は10、11月に開催することになっていたが、平成27年度に開催される中部圏支部学会の会場となるグランシップの仮予約が9月しか出来なかったため、日臨技に開催月変更理由書を提出することになった。

#### 7. 技師連盟関連（山口常務理事）

- ・臨床検査技師の地位向上をめざすには国政に反映できるだけの団結力が必要なので、技師連盟へ加入してもらえよう会員に向けての啓蒙活動を依頼された。公的な施設に勤務する会員でも加入することは大丈夫。

#### 8. 東部支部会（原田副会長）

- ・4月19日に、次期理事候補、支部役員、各施設技師長を対象に今後の役員選出に向けてのブロック分け案を提案した。これをきっかけに、東部地区の交流を深めていきたい。との報告があった。

#### 9. 検体測定室におけるガイドライン（横地会長）

- ・日本再興戦略等において、4月1日より簡易検査を行ってもよいと閣議決定した。ガイドラインではコンビニ検診（簡易検査キットを購入し自分で穿刺して、採取した血液を塗布して郵送すること）が可能となるが、検査結果に対する精度保証や、感染防止について明確な説明がされていない。簡易検査導入により、健診部門や開業医に影響を与える可能性があるが、簡易検査はあくまでも目安であり、医療行為としては許可していないので、検査結果が悪くて受診しても再度検査をしなければならない。また、本来行われる健診事業とは全く異なることを認識させ健診を受診勧奨させなければならない。どれくらいのニーズがあるのかは未知数である。今後、理事会等でも情報交換していきたいと思う。

#### 10. 事務所関連（伊藤事務局長）

- ・現在使用している、ホームページサーバー、メールサーバーが今年度中にバージョンアップするため、新規サーバーへの移行が必要になる。今後、サーバーを運営する会社から詳細試料が届くので順次対応をお願いしたい。との報告があった。
- ・4月19日に事務所の消防設備点検・排水管洗浄を行ってもらった。

11. 後援依頼、結果報告、御礼（伊藤事務局長）

- ・ 4月5日に開催された「子宮頸がん検診促進のための啓蒙活動」に対し、昨年同様に静臨技が後援するとの返事をした。
- ・ 第28回春季セミナー開催のお礼、静岡県理学療法士会主催公開講座後援のお礼が届いた。

12. その他（伊藤事務局長）

- ・ 2月の新入会承認・会員異動が報告され承認された。
  - ・ 公益信託、臨床検査医学研究振興基金の資料説明
  - ・ もくせい会館利用案内の資料説明
  - ・ 「検査説明・相談の出来る臨床検査技師育成講習会」実施要項（別紙）
- 以上

一般社団法人 静岡県臨床衛生検査技師会

議長 横地 常広

氏名 \_\_\_\_\_ 印

議事録記名人

原田 勉 三宅和秀 松岡敏彦 榛葉智之

氏名 \_\_\_\_\_ 印

氏名 \_\_\_\_\_ 印

氏名 \_\_\_\_\_ 印

氏名 \_\_\_\_\_ 印